

平成23年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年4月5日

上場取引所 大

上場会社名 カネコ種苗株式会社
 コード番号 1376 URL <http://www.kanekoseeds.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 正明

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務部長 (氏名) 長谷 浩克

四半期報告書提出予定日 平成23年4月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 027-251-1619

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年5月期第3四半期の連結業績(平成22年6月1日～平成23年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年5月期第3四半期	32,150	19.1	792	42.9	839	46.2	484	57.5
22年5月期第3四半期	26,999	0.7	554	19.5	573	12.9	307	21.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年5月期第3四半期	41.55	—
22年5月期第3四半期	26.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年5月期第3四半期	29,144	11,292	38.5	961.84
22年5月期	36,982	11,011	29.6	939.67

(参考) 自己資本 23年5月期第3四半期 11,215百万円 22年5月期 10,957百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年5月期	—	7.00	—	12.00	19.00
23年5月期	—	9.00	—		
23年5月期(予想)				12.00	21.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年5月期の連結業績予想(平成22年6月1日～平成23年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	10.9	1,700	5.4	1,750	5.5	1,000	1.9	85.76

(注)当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）
① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年5月期3Q 11,772,626株 22年5月期 11,772,626株
② 期末自己株式数 23年5月期3Q 111,856株 22年5月期 111,625株
③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年5月期3Q 11,660,884株 22年5月期3Q 11,661,178株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、【添付資料】3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	5
(第3四半期連結累計期間)	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) セグメント情報	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、持ち直しに向けた動きが見られ足踏み状態を脱しつつあるものの、高水準な失業率や円高傾向、原油価格の高騰など景気が下振れするリスクが存在する状況にあります。加えて、第3四半期末日後には甚大な被害をもたらした東日本大震災が発生し、今後の景気にも暗い影を落としております。

国内農業の状況は、農業就業人口が過去20年間で半減するとともに平均年齢が65歳を超え、かつ、耕作放棄地の増加が続くなど、人、農地の両面から衰退が進んでおります。また、家畜伝染病口蹄疫や鳥インフルエンザの発生、九州の新燃岳の噴火等、農産物の生産にマイナスの影響を及ぼす事象が連続して発生し、農業を取り巻く環境はより不透明感を増しています。こうしたなか、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、昨年より株式会社ベルデ九州が連結子会社となったことや、農材事業・施設材事業の業績が順調に推移したことから、売上高321億50百万円で前年同期比51億50百万円（19.1%）増、営業利益7億92百万円で前年同期比2億37百万円（42.9%）増、経常利益8億39百万円で前年同期比2億65百万円（46.2%）増、四半期純利益4億84百万円で前年同期比1億76百万円（57.5%）増となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(種苗事業)

種苗事業においては、当社オリジナル品種が評価されたことにより、国内販売でハウレンソウ・タマネギ・ハクサイ等の野菜種子や飼料作物種子、輸出でキャベツ・トマト等が増収となったことにより、売上高42億99百万円で前年同期比1.7%の増収となりました。

(花き事業)

花き事業においては、球根の需要が減少するなどして売上が低迷し、売上高53億67百万円で前年同期比3.0%の減収となりました。

(農材事業)

農材事業においては、新たに株式会社ベルデ九州が連結子会社となったことや病害虫の発生が多発したことによる需要増、また、新剤の積極的な普及拡売による採算性の向上を図るなどして、売上高140億54百万円で前年同期比31.8%の大幅増収となりました。

(施設材事業)

施設材事業においては、新たに株式会社ベルデ九州が連結子会社となったことや営業社員増員による販売網の拡充等が功を奏したことに加え、原材料価格の高騰に伴い値上がりが見込まれる農業用フィルムの駆込み需要が発生したことなどにより、売上高82億8百万円で前年同期比28.8%の大幅増収となりました。

(造園事業)

売上高2億19百万円で前年同期比増収となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(財政状態の変動状況)

当第3四半期連結会計期間末における「資産の部」の残高は、291億44百万円となり、前連結会計年度末と比較して78億37百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金や商品の減少によるものであります。

また「負債の部」の残高は、178億52百万円となり、前連結会計年度末と比較して81億19百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が減少したことによるものであります。

「純資産の部」の残高は、112億92百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億81百万円増加いたしました。これは主に利益計上によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は16億80百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億72百万円減少いたしました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に仕入債務の減少額が売上債権の減少額を上回ったことにより、資金は14億47百万円減少（前年同期比7630.3%増）いたしました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に短期借入金の純増により、資金は9億4百万円増加（前年同期比158.0%増）いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、東日本大震災の影響から、東北地方を中心として売上が予想を下回ることが想定されるため、平成23年1月6日の平成23年5月期第2四半期決算短信で公表いたしました前回予想を、下表のとおり変更いたします。

通 期

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	53,000	1,850	1,900	1,100	94.33円
今回修正 (B)	51,000	1,700	1,750	1,000	85.76円
増減額 (B - A)	△2,000	△150	△150	△100	—
増減率 (%)	△3.8	△8.1	△7.9	△9.1	—
(ご参考) 前期実績 (平成22年5月期)	45,995	1,613	1,658	981	84.16円

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

(イ) 一般債権の貸倒見積高の算定方法については、当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

(ロ) たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2. 特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 会計処理基準に関する事項の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

2. 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,068,541	2,740,926
受取手形及び売掛金	12,476,794	19,963,533
商品	5,394,314	5,087,632
その他	1,256,632	1,264,346
貸倒引当金	△58,504	△80,893
流動資産合計	21,137,779	28,975,547
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,141,432	4,121,714
その他（純額）	1,867,021	1,882,976
有形固定資産合計	6,008,454	6,004,690
無形固定資産	142,670	160,737
投資その他の資産		
その他	1,932,538	1,927,623
貸倒引当金	△76,616	△86,021
投資その他の資産合計	1,855,922	1,841,602
固定資産合計	8,007,046	8,007,030
資産合計	29,144,826	36,982,577
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,130,192	20,543,947
短期借入金	3,565,000	2,438,583
未払法人税等	26,766	421,983
その他	801,456	1,290,980
流動負債合計	16,523,416	24,695,493
固定負債		
退職給付引当金	1,021,206	991,774
役員退職慰労引当金	218,730	208,530
その他	88,880	75,442
固定負債合計	1,328,817	1,275,747
負債合計	17,852,233	25,971,241
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,267	1,491,267
資本剰余金	1,752,037	1,752,037
利益剰余金	7,921,203	7,681,619
自己株式	△65,929	△65,748
株主資本合計	11,098,579	10,859,175
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	117,248	98,333
評価・換算差額等合計	117,248	98,333
少数株主持分	76,764	53,826
純資産合計	11,292,592	11,011,336
負債純資産合計	29,144,826	36,982,577

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
売上高	26,999,768	32,150,053
売上原価	22,045,045	26,559,323
売上総利益	4,954,722	5,590,729
販売費及び一般管理費	4,399,887	4,797,967
営業利益	554,835	792,762
営業外収益		
受取配当金	25,418	30,405
受取家賃	37,272	37,933
その他	11,327	27,531
営業外収益合計	74,018	95,870
営業外費用		
支払利息	33,694	27,091
投資事業組合運用損 為替差損	13,533	8,681
その他	—	13,352
その他	7,708	470
営業外費用合計	54,935	49,596
経常利益	573,918	839,035
特別利益		
貸倒引当金戻入額	26,780	29,957
特別利益合計	26,780	29,957
特別損失		
投資有価証券評価損	54,053	—
その他	6,653	1,207
特別損失合計	60,707	1,207
税金等調整前四半期純利益	539,991	867,785
法人税等	232,300	360,506
少数株主損益調整前四半期純利益	—	507,279
少数株主利益	—	22,815
四半期純利益	307,691	484,464

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	539,991	867,785
減価償却費	149,625	146,101
売上債権の増減額(△は増加)	7,543,770	7,419,359
たな卸資産の増減額(△は増加)	△740,226	△360,888
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,479,095	△8,278,065
その他	△340,737	△481,503
小計	673,329	△687,210
法人税等の支払額	△686,449	△761,402
その他	△5,604	1,053
営業活動によるキャッシュ・フロー	△18,725	△1,447,559
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△138,710	△134,452
投資有価証券の売却及び償還による収入	9,387	—
その他	△23,697	4,957
投資活動によるキャッシュ・フロー	△153,020	△129,495
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	560,000	1,130,000
配当金の支払額	△198,617	△215,208
その他	△10,687	△10,122
財務活動によるキャッシュ・フロー	350,695	904,669
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	178,949	△672,385
現金及び現金同等物の期首残高	1,002,119	2,352,426
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,181,069	1,680,041

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年6月1日 至平成22年2月28日）

	種苗事業 (千円)	花き事業 (千円)	農材事業 (千円)	施設材事業 (千円)	造園事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	4,226,157	5,534,258	10,662,604	6,374,207	202,542	26,999,768	—	26,999,768
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	44,409	438	3,048	14,625	—	62,520	(62,520)	—
計	4,270,566	5,534,696	10,665,652	6,388,832	202,542	27,062,288	(62,520)	26,999,768
営業利益又は営業損失(△)	625,243	△127,292	409,747	192,624	△6,522	1,093,800	(538,965)	554,835

(注) 1. 事業区分の方法

売上集計区分によっております。

2. 各事業の主要製品

事業区分	主要製品
種苗事業	野菜種苗、飼料作物種子、緑化工事用種子、ウイルスフリー種苗
花き事業	球根、花苗、家庭園芸用資材
農材事業	農業用薬品、被覆肥料
施設材事業	農業関連資材、温室・養液栽培システムの設計施工
造園事業	造園・土木工事の請負施工

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年6月1日 至平成22年2月28日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年6月1日 至平成22年2月28日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品・サービス別セグメントから構成されており、「種苗事業」（野菜種苗、飼料作物種子、緑化工事用種子、ウイルスフリー種苗）、「花き事業」（球根、花苗、家庭園芸用資材）、「農材事業」（農業用薬品、被覆肥料）、施設材事業（農業関連資材、温室・養液栽培システムの設計施工）、及び造園事業（造園・土木工事の請負施工）の5つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年6月1日 至平成23年2月28日）

（単位：千円）

	種苗事業	花き事業	農材事業	施設材事業	造園事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	4,299,569	5,367,853	14,054,610	8,208,714	219,307	32,150,053
セグメント間の内部売上高又は振替高	45,587	161	309	15,116	—	61,173
計	4,345,156	5,368,014	14,054,919	8,223,830	219,307	32,211,226
セグメント利益又は損失（△）	665,046	△172,129	566,353	310,396	△6,391	1,363,275

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,363,275
全社費用（注）	△570,513
四半期連結損益計算書の営業利益	792,762

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。